



2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年11月13日

上場会社名 小池酸素工業株式会社 上場取引所 東
コード番号 6137 URL <https://www.koike-japan.com>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小池 英夫
問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役副社長執行役員 (氏名) 富岡 恭三 TEL 03-3624-3111
管理部長
四半期報告書提出予定日 2023年11月14日 配当支払開始予定日 ー
四半期決算補足説明資料作成の有無：無
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	23,922	4.4	1,795	29.7	2,188	28.7	1,356	32.9
2023年3月期第2四半期	22,923	16.6	1,384	132.4	1,701	79.1	1,021	192.9

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 3,241百万円 (51.0%) 2023年3月期第2四半期 2,147百万円 (42.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	323.45	—
2023年3月期第2四半期	244.63	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	67,349	38,581	53.2
2023年3月期	64,934	36,079	51.1

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 35,809百万円 2023年3月期 33,213百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	—	—	90.00	90.00
2024年3月期	—	—	—	—	—
2024年3月期（予想）	—	—	—	100.00	100.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	48,000	0.3	3,300	0.2	3,800	0.3	2,100	1.7	502.36

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期2Q	4,522,933株	2023年3月期	4,522,933株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	321,389株	2023年3月期	333,313株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期2Q	4,195,200株	2023年3月期2Q	4,174,591株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報)	10
3. 補足情報	12
受注及び販売の実績	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、米国経済は雇用増加に伴い個人消費が堅調に推移したものの、中国経済の停滞や長期化するロシア・ウクライナ情勢、各国の金融引き締め政策の継続等により、依然として予断を許さない状況で推移しました。

一方、わが国経済は、社会・経済活動の正常化を背景に、個人消費の回復やインバウンド需要の拡大など、緩やかな回復基調となりました。しかしながら、原材料・エネルギー価格の高騰や円安による物価上昇等の影響により、先行き不透明な状況となりました。

当社グループの主要先である建設業界・産業機械業界・造船業界では市況に回復の動きがみられるものの、建設資材や鋼材価格の高騰など、依然として予断を許さない状況となりました。

このような状況のもと、当社グループは中期経営計画で掲げた「世界市場での顧客満足の実現」に向けた拡販活動の推進や収益力の強化に取り組んでまいりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は239億22百万円（前年同期比4.4%増）、営業利益は17億95百万円（同29.7%増）、経常利益は21億88百万円（同28.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は13億56百万円（同32.9%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

機械装置

機械装置部門においては、当社オンリーワン技術のDBC（Dual Beam Control）ファイバーレーザー切断機を米国シカゴで開催された展示会「FABTECH Chicago 2023」に出展し、米国市場での販売活動を開始しました。また、国内市場においては、DBCファイバーレーザー切断機を中心にお客様の課題解決に直結する製品群の販売を強化したことにより、売上高は増加しました。

その結果、売上高は96億23百万円（前年同期比6.9%増）、セグメント利益は12億83百万円（同37.9%増）となりました。

高圧ガス

産業ガス分野においては、原材料や電気料金の高騰等による利益率の低下がみられるなか、価格改定や深耕拡大および新規拡販活動に注力しました。医療分野においては、コロナ関連機器の売上は減少しましたが、営業活動の強化等によりCPAPレンタルや院内感染防止対策機器の販売が引き続き好調に推移し、売上高は増加しました。

その結果、売上高は98億80百万円（前年同期比6.1%増）、セグメント利益は7億34百万円（同3.3%減）となりました。

溶接機材

溶接機材部門においては、溶接機や溶接ロボットなどの省力化機器、特定化学物質に指定された溶接ヒューム対策商品の販売に注力しましたが、溶接材料や大型設備の販売が低調に推移したことにより、売上高は減少しました。一方で、グラインダー、集塵機といったプライベートブランド商品の販売活動に注力し、利益は増加しました。

その結果、売上高は40億54百万円（前年同期比4.2%減）、セグメント利益は3億18百万円（同7.0%増）となりました。

その他

その他の部門においては、排ガス処理装置の受注が低迷したことにより、売上高は減少しましたが、原価率の低減に一定の成果を上げることができました。

その結果、売上高は3億62百万円（前年同期比3.2%減）、セグメント利益は96百万円（同14.1%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は673億49百万円で、前連結会計年度末比24億14百万円の増加となりました。

流動資産合計は378億34百万円で、前連結会計年度末比2億71百万円の増加となりました。これは主に電子記録債権が4億86百万円増加、原材料及び貯蔵品が3億75百万円増加、仕掛品が3億65百万円増加、商品及び製品が3億3百万円増加の一方、現金及び預金が15億22百万円減少したことによるものです。

固定資産合計は295億14百万円で、前連結会計年度末比21億43百万円の増加となりました。これは主に投資有価証券が18億61百万円増加したことによるものです。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は287億67百万円で、前連結会計年度末比87百万円の減少となりました。

流動負債合計は228億29百万円で、前連結会計年度末比4億44百万円の減少となりました。これは主に支払手形及び買掛金が5億58百万円減少したことによるものです。

固定負債合計は59億37百万円で、前連結会計年度末比3億57百万円の増加となりました。これは繰延税金負債が5億71百万円増加の一方、長期借入金が2億45百万円減少したことによるものです。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は385億81百万円で、前連結会計年度末比25億2百万円の増加となりました。これは主にその他有価証券評価差額金が12億12百万円増加、利益剰余金が9億78百万円増加したことによるものです。

この結果、自己資本比率は53.2%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物の残高は130億73百万円で、前連結会計年度末に比べ14億99百万円の減少となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

営業活動によるキャッシュ・フローは67百万円の支出（前年同期は22億88百万円の収入）となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益23億55百万円の一方、法人税等の支払額8億36百万円、棚卸資産の増加額7億59百万円、売上債権の増加額4億20百万円、仕入債務の減少額2億45百万円及び、未払消費税等の減少額1億76百万円等によるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは4億53百万円の支出（前年同期は16億69百万円の支出）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出5億60百万円等によるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは10億94百万円の支出（前年同期は8億31百万円の支出）となりました。これは主に配当金の支払額3億78百万円、ファイナンス・リース債務の返済による支出3億3百万円及び、長期借入金の返済による支出2億37百万円等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年5月12日に公表いたしました連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,993	13,470
受取手形及び売掛金	10,063	10,077
電子記録債権	3,343	3,829
商品及び製品	4,621	4,924
仕掛品	2,202	2,568
原材料及び貯蔵品	1,878	2,254
その他	806	979
貸倒引当金	△347	△269
流動資産合計	37,563	37,834
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,680	3,678
機械装置及び運搬具(純額)	1,002	1,107
工具、器具及び備品(純額)	897	926
土地	6,338	6,350
リース資産(純額)	684	745
建設仮勘定	53	132
有形固定資産合計	12,657	12,940
無形固定資産		
のれん	16	12
リース資産	2	—
その他	493	668
無形固定資産合計	512	681
投資その他の資産		
投資有価証券	6,499	8,360
その他	7,702	7,532
投資その他の資産合計	14,201	15,893
固定資産合計	27,371	29,514
資産合計	64,934	67,349

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,717	6,158
電子記録債務	4,227	4,613
短期借入金	4,894	4,866
1年内返済予定の長期借入金	420	429
リース債務	501	510
未払法人税等	860	641
賞与引当金	697	647
役員賞与引当金	95	42
受注損失引当金	77	84
製品保証引当金	117	107
建物解体費用引当金	25	26
その他	4,641	4,700
流動負債合計	23,274	22,829
固定負債		
長期借入金	1,267	1,021
リース債務	465	496
繰延税金負債	2,391	2,962
再評価に係る繰延税金負債	820	820
役員退職慰労引当金	55	57
退職給付に係る負債	210	217
資産除去債務	15	16
その他	354	345
固定負債合計	5,580	5,937
負債合計	28,855	28,767
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,028	4,028
資本剰余金	2,001	2,008
利益剰余金	22,661	23,640
自己株式	△760	△730
株主資本合計	27,931	28,946
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,619	3,832
繰延ヘッジ損益	—	△2
土地再評価差額金	858	858
為替換算調整勘定	1,496	1,893
退職給付に係る調整累計額	306	280
その他の包括利益累計額合計	5,281	6,862
非支配株主持分	2,866	2,772
純資産合計	36,079	38,581
負債純資産合計	64,934	67,349

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	22,923	23,922
売上原価	16,140	16,589
売上総利益	6,782	7,332
販売費及び一般管理費	5,398	5,537
営業利益	1,384	1,795
営業外収益		
受取利息	12	38
受取配当金	81	67
受取賃貸料	174	174
持分法による投資利益	10	—
物品売却益	48	36
為替差益	74	85
貸倒引当金戻入額	13	116
その他	29	23
営業外収益合計	444	542
営業外費用		
支払利息	38	53
賃貸費用	77	75
持分法による投資損失	—	8
その他	12	12
営業外費用合計	128	149
経常利益	1,701	2,188
特別利益		
固定資産売却益	23	3
投資有価証券売却益	—	168
特別利益合計	23	172
特別損失		
固定資産除売却損	0	4
減損損失	8	—
建物解体費用引当金繰入額	—	1
その他	1	—
特別損失合計	10	5
税金等調整前四半期純利益	1,714	2,355
法人税、住民税及び事業税	525	617
法人税等調整額	△84	136
法人税等合計	441	753
四半期純利益	1,273	1,602
非支配株主に帰属する四半期純利益	251	245
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,021	1,356

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	1,273	1,602
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△13	1,230
繰延ヘッジ損益	21	△2
土地再評価差額金	△5	—
為替換算調整勘定	898	437
退職給付に係る調整額	△26	△26
その他の包括利益合計	873	1,638
四半期包括利益	2,147	3,241
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,815	2,938
非支配株主に係る四半期包括利益	331	303

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,714	2,355
減価償却費	800	696
株式報酬費用	5	7
減損損失	8	—
のれん償却額	4	4
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△14	△117
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△25	△66
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△37	△53
受注損失引当金の増減額 (△は減少)	19	3
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	5	△14
建物解体費用引当金の増減額 (△は減少)	—	1
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△92	2
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△26	△18
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△17	△18
受取利息及び受取配当金	△94	△105
支払利息	38	53
持分法による投資損益 (△は益)	△10	8
固定資産除売却損益 (△は益)	△23	1
有価証券及び投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△168
売上債権の増減額 (△は増加)	1,305	△420
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△978	△759
仕入債務の増減額 (△は減少)	292	△245
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△188	△176
その他	79	△250
小計	2,766	718
利息及び配当金の受取額	93	105
利息の支払額	△44	△55
法人税等の支払額	△526	△836
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,288	△67

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△318	△136
定期預金の払戻による収入	240	275
有形固定資産の取得による支出	△444	△560
有形固定資産の売却による収入	47	5
無形固定資産の取得による支出	△135	△201
無形固定資産の売却による収入	—	2
投資有価証券の取得による支出	△855	△87
投資有価証券の売却による収入	—	199
関係会社株式の取得による支出	△166	—
貸付けによる支出	△36	—
貸付金の回収による収入	0	0
その他	△1	49
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,669	△453
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	57	△19
長期借入金の返済による支出	△253	△237
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△340	△303
自己株式の取得による支出	△0	△0
自己株式の売却による収入	31	32
配当金の支払額	△251	△378
非支配株主への配当金の支払額	△74	△120
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	—	△66
財務活動によるキャッシュ・フロー	△831	△1,094
現金及び現金同等物に係る換算差額	457	116
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	244	△1,499
現金及び現金同等物の期首残高	12,297	14,573
現金及び現金同等物の四半期末残高	12,541	13,073

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	機械装置	高压ガス	溶接機材	計				
売上高								
顧客との契約から生じる収益	9,000	9,316	4,231	22,548	374	22,923	—	22,923
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	9,000	9,316	4,231	22,548	374	22,923	—	22,923
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	9,000	9,316	4,231	22,548	374	22,923	—	22,923
セグメント利益	931	759	298	1,988	84	2,072	△688	1,384

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、燃焼式排ガス処理装置、ヘリウム液化機の製造・仕入・販売が含まれております。

2. セグメント利益の調整額△688百万円には、セグメント間取引消去74百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△695百万円、棚卸資産の調整△84百万円、その他の調整額17百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	機械装置	高压ガス	溶接機材	計				
売上高								
顧客との契約か ら生じる収益	9,623	9,880	4,054	23,559	362	23,922	—	23,922
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売 上高	9,623	9,880	4,054	23,559	362	23,922	—	23,922
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	9,623	9,880	4,054	23,559	362	23,922	—	23,922
セグメント利益	1,283	734	318	2,337	96	2,433	△638	1,795

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、燃焼式排ガス処理装置、ヘリウム液化機の製造・仕入・販売が含まれております。

2. セグメント利益の調整額△638百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△729百万円、棚卸資産の調整△32百万円、貸倒引当金の調整額61百万円、その他の調整額62百万円が含まれております。

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 補足情報

受注及び販売の実績

(1) 受注実績

当第2四半期連結累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高 (百万円)	前年同四半期比 (%)	受注残高 (百万円)	前年同四半期比 (%)
機械装置	8,418	107.9	9,818	123.8

(注) 1. 金額は販売価格によっております。

2. 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

3. 受注高及び受注残高につきましては、標準機・部品等の金額を含めておりません。

(2) 販売実績

当第2四半期連結累計期間の販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	前年同四半期比 (%)
機械装置 (百万円)	9,623	106.9
高圧ガス (百万円)	9,880	106.1
溶接機材 (百万円)	4,054	95.8
報告セグメント計 (百万円)	23,559	104.5
その他 (百万円)	362	96.8
合計 (百万円)	23,922	104.4

(注) 上記金額には、消費税等は含まれておりません。